



一般社団法人

建設プロジェクト運営方式協議会

Construction Project Delivery System Council

# 第1号議案 事業報告・収支報告

2022年6月24日

通常総会

# 2021年度 事業報告・収支報告

---

1. 総会・理事会
2. 委員会活動
  - (1) 資格認証委員会
  - (2) 普及啓発委員会
  - (3) 官民連携委員会
  - (4) 海外連携作業部会
3. CPDSフォーラム
4. オンライン開催シンポジウム
5. 収支報告

# 1. 総会・理事会

---

- 通常総会（オンライン）：2021年6月3日
  - 第1号議案：2020年度事業活動及び状況業収支報並びに財務諸表承認の件
  - 第2号議案：2021年度事業計画及び収支予算の策定
  - 第3号議案：役員を選任について
- 第19回理事会（オンライン）：2021年5月27日
  - 第1号議案：2020年度事業活動及び状況業収支報並びに財務諸表承認の件
  - 第2号議案：2021年度事業計画及び収支予算の策定
  - 第3号議案：役員を選任について
- 第20回理事会（リアル）：2021年12月17日
  - 第1号議案：2021年度上半期事業報告・収支報告
  - 第2号議案：2021年度下半期事業計画（案）
  - 第3号議案：シンポジウム追加負担金について
  - 第4号議案：MPM第2弾認証について

## 2. 委員会活動（1）資格認証委員会

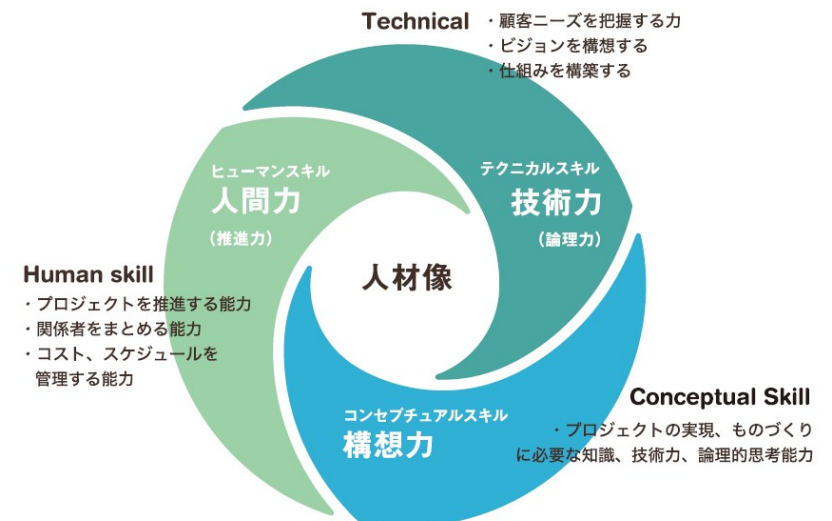
- 第2弾の資格認証として、3名をMPMに認証した。
  - ・ 渡部英二氏（元UR都市機構 復興支援統括役）
  - ・ 出澤研太氏（株式会社インフォクリエイツ代表取締役）
  - ・ 中島雷太氏（建築家・中島製作所代表）
- 2022年6月、ウェブサイト・リニューアルとあわせMPM紹介ページに掲載予定。
- MPMの差別化要因について議論し、素案をとりまとめた。



宮田秀明委員長

### マスターオブPMに求められる人材像

CPDSが定義する「プロジェクト・マネジメント力」の3要素



渡部英二氏



出澤研太氏



中島雷太氏

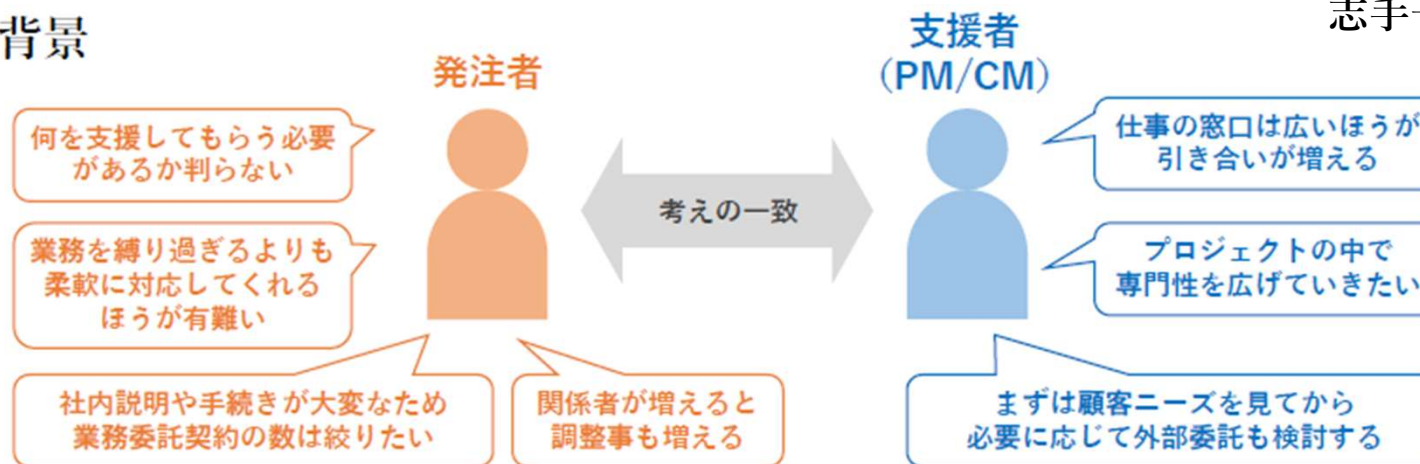
## 2. 委員会活動 (2) 普及啓発委員会

- ① 書籍出版事業：『現代の建築プロジェクトマネジメント（仮）』を22年7月に彰国社より刊行予定。月1回の定例会議を開催し、原稿本文は完成し、書籍デザイン・編集を進めている。
- ② 「PM/CM等発注者支援業務の範囲と区分の整理」について、11月から3回の会合を開催し、CPDSとしての見解取りまとめた。



志手一哉委員長

### ● 背景



発注者支援の職能が明確でない背景と弊害

# 書籍『現代の建築プロジェクトマネジメント』

- 彰国社からの出版が決定、2022年7月発刊予定。
- 発注者にも理解しやすいよう、図解による説明を中心とした書籍を目指す。

## ■目次

第1章	日本の建築産業が抱える課題	
第2章	建築プロジェクトにおける発注者の役割	
第3章	建築プロジェクトのコストマネジメント	第1部 建築プロジェクト の概況
第4章	建築プロジェクトのリスク	
第5章	建築プロジェクトの透明化	
第6章	英米における建築プロジェクト運営方式	
第7章	多様な発注方式を比較する視点	
第8章	発注者へのヒアリング調査	第2部 建築プロジェクト の現状
第9章	設計事務所へのヒアリング調査	
第10章	ゼネコンへのヒアリング調査	
第11章	発注者支援者へのヒアリング調査	
第12章	持続的な発展に向けて	第3部 建築プロジェクト の展望
第13章	事例集	





## 2. 委員会活動（3）官民連携委員会

- 2021年度から活動を再開。岡田孝委員長のもと、3回の委員会を開催。
- 第1回：2021年9月10日（金）
  - ①PPP/PFIアクションプランについて
  - ②愛知県新体育館・整備運営等事業について
- 第2回：2021年11月10日（水）
  - ①Park-PFI事例紹介：豊島区イケサンパーク
  - ②豊島区公園緑地課・課長との質疑応答
  - ③ Park-PFIの課題について
- 第3回：2022年2月2日（水）
  - ・活動報告まとめ案の検討



岡田孝委員長



## 2. 委員会活動（3）官民連携委員会

### ● Park-PFI：官民連携のさらなる推進に向けて

- **公共と民間の対等なパートナーシップ、適正なリスク分担**は、従来のPFI事業やコンセッション事業でも課題とされてきたが、Park-PFIにおいても同じような状況に陥っている

➡ 民間が公の施設の管理運営において**適正な利益**を得ることに対する自治体側の理解不足を解消し、民間も事業収支を**透明性**をもって説明することで、**持続的な官民連携事業**とするべきである

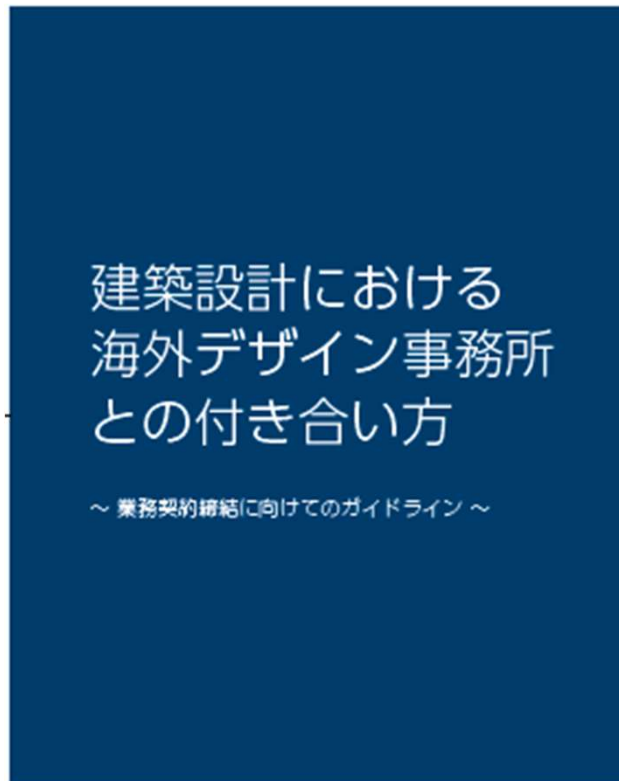
- その上で、**持続的な公園維持管理の全体最適**の視点で、好立地にある特定の公園だけでなく**地方部にある大多数の公園**においても有効な官民連携のあり方を考えるべきではないか
- 地域住民のサービス向上、維持管理コスト削減を実現させるためにはインフラ管理の現状、公共の縦割管理を脱却し、道路等の他インフラと複合的に運用管理する等の方法も考えていくべきではないか
- 今後は、近い将来訪れるデジタル社会や地域特性を踏まえて、あるべき社会インフラ、その一部としての公園運営を考えていくべきではないか

## 2. 委員会活動（4）海外連携作業部会

- 昨年度立ち上げて作成した海外の設計事務所との契約を想定した「デザイン業務契約書ひな型」をベースに、ガイドブックを作成。



中島雷太リーダー



### 3. CPDSフォーラム

---

- オンラインで2回、CPDSフォーラムを開催した。
- 第4回：7月30日（金）  
テーマ：アフターコロナ & AI-DX時代の「生き方～働き方」  
ゲスト：花村邦昭氏（CPDS代表理事、学校法人大妻学院顧問）  
参加者：32名
- 第5回：11月2日（火）  
テーマ：PPP/PFI推進アクションプラン  
ゲスト：庄司義明氏（内閣府民間資金等活用事業推進室企画官）  
参加者：17名

## 4. オンライン国際シンポジウム

- 12月9日、オンライン国際シンポジウムを開催した。昨年度に続き主催はCPDSに加え一般社団法人環境未来フォーラム、一般社団法人PPP推進支援機構の3法人の共催で、多数の会員企業が協賛した。参加申込者は3,300名であった。
- ハーバード大学教授・政治哲学者のマイケル・サンデル氏が新著『実力も運のうち』をベースに基調講演を行った。パネルディスカッションはサンデル氏に加え石井菜穂子・隈研吾・山口周の3氏が参加して“分断を超えた先にある共生未来”について語り合った。



基調講演:マイケル・サンデル氏



パネルディスカッション



## 4. オンライン国際シンポジウム

### ▶ 下記の省庁・機構・メディアからの後援を受けて開催

➤ 財務省

財務省

Ministry of Finance, JAPAN

➤ 国土交通省



➤ 文部科学省



➤ 独立行政法人国際協力機構



➤ 独立行政法人都市再生機構



➤ 海外交通都市開発  
事業支援機構



➤ 国際連合地域開発センター



➤ アフリカ開発銀行



➤ 日本経済新聞社

NIKKEI

➤ 日経アーキテクチュア

日経アーキテクチュア

➤ 日経コンストラクション

日経コンストラクション



## 5. 収支報告（1）会計収支

- 収入：予算8,211千円に対して、決算13,974千円、5,763千円の増額であった。
- 支出：予算8,211千円に対して、決算9,942千円、1,731千円の増額であった。
- 次年度繰越金：4,032千円（前受金収入800千円を含む）

（単位：円）

収入の部				支出の部			
科目	予算額	決算額	決算増減額	科目	予算額	決算額	決算増減額
①会費収入	5,000,000	4,200,000	△ 800,000	①事業費支出	7,115,000	9,483,058	2,368,058
②その他収入	900,000	7,131,600	6,231,600	②管理費支出	1,096,000	458,637	△ 637,363
③財務活動収入	0	△ 1,269,178	△ 1,269,178				
④前期繰越金	2,311,000	3,911,392	1,600,392				
合計	8,211,000	13,973,814	5,762,814	合計	8,211,000	9,941,695	1,730,695
						次期繰越	4,032,119

前受金80万含む

## 5. 収支報告（2）収入内訳

- 会費は見込み5,000千円に対して4,200千円、△800千円（新規入会なし）
- その他収入はシンポジウム協賛金・返還金があり合計7,132千円

（単位：円）

大科目	中科目	小科目	2021年度予算額	2021年度決算額	摘要
収入の部					
事業活動収入	①会費収入		5,000,000	4,200,000	
		正会員会費収入	4,600,000	4,200,000	
		入会金収入	400,000	0	
	②その他収入		900,000	7,131,600	
		出版事業収入	900,000	0	
		セミナー収入	0	0	
		協賛金収入	0	922,000	シンポジウム協賛金
		特別収入	0	6,209,600	シンポジウム返還金
財務活動収入	③財務活動収入		0	△ 1,269,178	
		前受金消込	0	△ 1,600,000	
		前受金収入	0	800,000	
		未払金消込	0	△ 495,000	
		未払金計上	0	25,822	
活動収入合計			5,900,000	10,062,422	
前期繰越収支差額			2,311,000	3,911,392	
収入合計			8,211,000	13,973,814	単位：円

## 5. 収支報告（3）支出内訳

- 事業費支出は予算7,115千円に対して決算9,483千円、2,368千円増（シンポジウム）
- 管理費支出は予算520千円に対して決算459千円、△61千円

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	摘要
支出の部					
事業活動支出	①事業費支出		7,115,000	9,483,058	2,368,058
		会議費	355,000	24,874	CPDSフォーラム等会議費
		研究活動費	1,700,000	279,290	委員会活動費等
		広報費	1,600,000	5,158,046	シンポジウム、WEBサイト更新費
		その他収入（返還分）		800,000	
		通信費	80,000	74,245	事業費：管理費を8:2で按分
		事務局経費	3,380,000	3,146,603	事業費：管理費を8:2で按分
	②管理費支出		520,000	458,637	△ 61,363
		会議費	50,000	44,200	事務局会議等
		通信費	20,000	18,561	事業費：管理費を8:2で按分
		事務局経費	350,000	299,186	事業費：管理費を8:2で按分
		その他費用	100,000	96,690	
	③予備費支出		576,000	0	
支出合計			8,211,000	9,941,695	1,730,695